



北海道養護教員会  
たより 第2号  
発行 R6.12.15



## 支部長研修会を終えて



会長 鈴木 美和

暑かった8月1日・2日の第54回北海道養護教員研究大会が、ずいぶん前の事のように感じています。季節はすっかり移り変わり、今シーズンの積雪の心配、インフルエンザ等感染症流行の心配がつきません。会員の皆様におかれましては、日常の執務にお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

過日、第2回支部長研修会を札幌エルプラザにて開催いたしました。支部長さん同士が顔を合わせての会議は今年度初となりました。第54回大会で5年ぶりに再開した分科会の様子からも感じましたが、養護教諭同士が語り合える機会はとても大切でたくさんの元気をもらえるという事を実感しました。

今回の支部長研修会では、2支部から提出議題がありました。現在本会が抱えるいくつかの課題に直面した議題です。皆様の御意見をいただきながら検討していきます。

同日午前中には研究大会引継ぎ会も開催しました。第54回・第55回・第56回大会実行委員会から関係者が集まり、第54回大会での運営のノウハウが引き継がれました。

支部長研修会の後には第1回研究大会を考える会（令和6年度～）も開催されました。今後の研究大会の在り方について各支部の現状や意見をもとに検討が始まりました。本会の中心事業であります研究大会の何を大切に考え、どう継続していくことができるのかを複数年かけて考えていきます。

早いもので令和6年も残すところ2週間となりました。会員の皆様がお健やかに、よい年を迎えられますようお祈りいたします。



## 第2回支部長研修会について



11月16日（土）、札幌エルプラザにて、第54回及び第55回北海道養護教員研究大会引継ぎに引き続き、令和6年度第2回支部長研修会が開催され、次の事項について審議・報告されましたのでお知らせします。



### 議事

- (1) 令和6年度業務経過報告
- (2) 第54回北海道養護教員研究大会について
- (3) 第55回北海道養護教員研究大会について
- (4) 第56回北海道養護教員研究大会について
- (5) 研究大会にかかわる申し合わせ事項について
- (6) 令和6年度総会について
- (7) 次年度本部担当支部について
- (8) 各支部提出議題
  - ・札幌高校支部より
  - ・檜山支部より
- (9) その他

## 報告及び連絡事項

- |                  |         |              |
|------------------|---------|--------------|
| (1) 会費納入状況       | (4) その他 | ・執務手帳の幹旋について |
| (2) たよりと会誌について   |         | ・校種別会員数について  |
| (3) 各支部研究テーマについて |         | ・会員名簿について    |

会費については、今年度も全支部完納してくださいました。御協力くださったことに感謝申し上げます。現在の会員数は1,201名、納入金額は2,402,000円となります。

## 第1回「研究大会を考える会(令和6年度~)」について

令和6年度北海道養護教員会事務局

第2回支部長研修会の後、第1回「研究大会を考える会(令和6年度~)」が開催されました。

開催日程について、開催地について、特別講演や講座のオンライン・アーカイブ配信についてなど、各支部からいただいた御意見を元に本部での原案を示し、各支部長や研究大会実行委員長からの御意見をいただき、協議しました。

開催日程については、「主管支部の事情によって1日~1日半日程とする」に賛成がほとんど(どちらともいえないが1支部)でした。主管支部の負担を軽減しながらも、会員にとって満足のいく研究大会が運営できることが望まれています。日程に自由度を持たせることについては、第56回釧路大会から適用したいと考えます。

開催地については、「札幌に固定」が3支部、「札幌・旭川・帯広・釧路・函館で固定」が1支部、「従来通り主管支部の都合の良い場所とする」が10支部でした。各支部の地域的な事情や、他職の研究大会の例についてお話がありました。

オンラインやアーカイブ配信については、「賛成」が7支部(ブロック含)、「反対」がなし、「どちらともいえない」が10支部(ブロック含)でした。会場参加ができない会員にとって配信はありがたいが、主管する側になった時の負担や、過去の例から労力に見合った視聴数が得られないことなどを懸念する意見が多く聞かれました。

今回話し合った事項については、改めて総会で今後の方針をおはかりしたいと思います。

## 令和6年度 北海道養護教員会総会の御案内

〔日時〕 令和7年2月15日(土) 13:30~15:30

〔場所〕 札幌市民交流プラザ 402 (札幌市中央区北1条西1丁目)

- 〔議事〕
- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| ○令和6年度事業・業務報告        | ○令和6年度中間決算報告   |
| ○令和7年度事業・業務計画        | ○令和7年度予算案      |
| ○第55回北海道養護教員研究大会について | ○令和7年度役員選出について |
| ○その他                 |                |

総会は会則15条により、支部の会員数に比例して選出された評議員により構成され、会員50名につき1名、そのうち1名は支部長が兼ねることとなっております。評議員の方々には1月中に開催案内・2月に議案書を提示する予定です(提示方法については現在検討中です)。

### 第55回北海道養護教員研究大会

- |   |      |   |
|---|------|---|
| 1 | 主 管  | 北海道養護教員会 上川支部 留萌支部                                      |
| 2 | 日 程  | 令和7年7月31日(木)~8月1日(金)                                    |
| 3 | 会 場  | 1日目 アートホテル旭川<br>2日目 アートホテル旭川・トーヨーホテル                    |
| 4 | 研究主題 | 『21世紀を担う児童生徒の健やかな心身の発達をめざして』<br>~これからの養護教諭の職務はいかにあるべきか~ |
| 5 | 内 容  | ・特別講演 ・講 座 ・分科会 ・展示                                     |

## 第54 回北海道養護教員研究大会空知宗谷大会への御参加、

ありがとうございました

### 第 54 回北海道養護教員研究大会実行委員長 濱谷 優子

8月1日・2日の2日間、岩見沢市で開催いたしました第54回北海道養護教員研究大会空知宗谷大会は、全道各地より440名の皆様に御参加いただき、盛会のうちに全日程を無事に終了することができました。アンケートから特別講演、講座、5年ぶりの分科会、QRコードでの展示について好評だったことが伺え、これもひとえに皆様の御支援と御協力の賜と、実行委員一同心より感謝を申し上げます。

研究大会に御参加いただく皆様にとって、「来て良かった」「元気をもらった」と実感していただける研究大会となるようにと、空知・宗谷支部会員一同、心を込めて準備を進めてまいりました。研究大会当日、皆様の笑顔が会場いっぱいに溢れる様子や、多くの皆様から「参加して良かった」という感想をいただきましたことは、何よりも嬉しく励みになりました。全体的にタイトな日程、限られた環境での研究大会でございましたので、行き届かない点が多々あったと存じますが、運営側へ優しいお声をたくさんいただき深く感謝申し上げます。空知・宗谷支部の会員が経験年数や支部の枠を超えて運営にあたった経験と繋がり、個人だけではなくそれぞれの支部の貴重な財産となりました。

大会後は皆様から寄せていただいたお声を大切に反省とまとめの作業を進め、1月には研究集録を発行する予定です。お手元に届きました際には御覧いただき、研究大会の様子を思い出しながら更に学びを深めていただけたら幸いです。

来年は上川・留萌支部の主管で開催されます。皆様と一緒に学びを共有できる日を心待ちにしております。上川留萌大会が盛会に開催されますことを御祈念申し上げまして、お礼の言葉といたします。ありがとうございました。

## 第54 回北海道養護教員研究大会空知宗谷大会に参加して

### 事務局研究係 前谷 菜津希

8月1日(木)～2日(金)、岩見沢市にて北海道養護教員研究大会が行われました。昨年に続き会同開催となり、昼食なしの2日日程で、5年ぶりに分科会も会同で行われました。掲示物はQRコードにて紹介されました。私は今回初めて会同で参加しましたが、会場はたくさんの先生方で温かな雰囲気でした。空知・宗谷支部の皆様をはじめ、開催に御尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

特別講演は『先生だって甘えていいんだよ～あなたに「還る家」はありますか?～』と題し、多くの著書や雑誌「健」などで悩みや相談に寄り添ってくださっている富田富士也先生の御講演でした。「どん底の時に人生を支えてくれるものは在るか、そのままの自分を受け止めてくれる“還る家”はありますか。」と熱い問いがありました。後半、先生はステージから降りて朗らかに参加者に声をかけながら、たくさんのワークを行ってくださり、終始笑いの絶えない時間となりました。

第2講座では、「学校で苦戦している子どもたちへの対応～その背景・関係性の理解を通して～」として、北翔大学の山谷先生より子どもたちの行動や症状の背景について御講演いただきました。先生ご自身の経験談や、保健室を安全基地とする具体的な関わり方などのお話は時間が足りないほどでした。

2日目には、「育ちへのヒント～小中連携とその先へ～」として、札幌小中支部の第5分科会に参加しました。グループ討議では、不登校傾向や発達に特性のある「気になる子ども」について、これまでの対応や悩み・困りを交流し、具体的な手立てについて4つの視点から検討しました。地域や年代、学校規模が異なる先生方との交流の場では、会同の良さを改めて感じ、充実した学びの場でした。どのグループも、模造紙がアイディアの付箋で埋め尽くされ大変有意義な交流となりました。

## おめでとうございます

### 令和6年度 北海道学校保健功労者表彰受賞者

佐藤 倫子 先生（札幌市立日新小学校）

渡邊 直美 先生（釧路市立清明小学校）

この表彰は、北海道の学校保健の振興に功労のあった教育職員及び団体並びに学校保健関係者を北海道学校保健会が表彰して、その功労に報いるものです。

令和6年度は、学校医30名、学校歯科医42名、学校薬剤師21名、教職員4名の計97名、その内北海道養護教員研究会からは2名の先生が受賞の榮譽に輝きました。

## 第42回北海道思春期研究会参加報告

### 事務局庶務係 福家直子

令和6年7月6日（土）に、テーマ「思春期の精神保健」に沿って4つの講演がありました。

特別講演1「思春期のゲーム・ネット依存」（ときわ病院理事長 館農 勝氏）では、ゲーム・ネット依存について、不登校や発達障害との関連を示しながらも子どもたちの思いにも言及され、没収するのではなく、コミュニケーションをとりながら本人に自覚を促すことが重要であると話されました。

教育講演「てんかんと妊娠、思春期からのケア」（市立稚内病院精神神経科診療部長 栗田 紹子氏）では、薬剤の適切な調整により発作や胎児への影響を回避できるため、てんかん患者が妊娠出産を含めた人生設計を立てられるよう、思春期からの丁寧なカウンセリングが必要であると話されました。

会長講演「多面的価値に基づいた不登校への対応」（北海道医療大学心理科学部教授 柳生 一自氏）では、さまざまな問題により子どもの困り感が複合的に絡み合っていることを示し、『自分を保ちながらゆくゆく社会と繋がっていく』ことを目標に支援していくことが重要であると話されました。

特別講演2「思春期の自殺をめぐる動向」（北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門特任教授 齊藤 卓弥氏）では、思春期の自殺の要因としてうつ病との関連を示し、子どものうつ病の増加や自殺の準備段階にある子どもの多さを危惧され、周りのサポートの重要性について話されました。

## 《お知らせ》

### 執務手帳（札幌市養護教員会編）の斡旋について

\*価格 1,870円（本体1,700円+税）

\*仕様 B5版（ビニールカバーは付きません。）

\*申込先 （株）北海教育評論社 〒065-0041 札幌市東区本町1条1丁目1-11

TEL 011-785-3231 FAX 011-785-3731

\*申込方法 学校名、住所、氏名、公費・私費の別を記入の上、FAXでお申し込みください。

\*申込締切 令和7年1月24日（金） 期日厳守でお願いします。

※納期は、2月上旬になります。

※お支払いは、振込用紙にて3月上旬までに納めてください。

※個人情報に記載するページの取扱いには、十分御配慮ください。